



『6年根』

が いい んです！

6年根の高麗人蔘は文字通り6年間じっくりと大地の栄養を吸収して、丹念に栽培したものです。6年根の高麗紅蔘を収穫した後は、6～15年もの間、畑を休ませなくてはならないといわれるほど、6年根の根全体の重量も4年根の2倍ほどになり、サポニンをはじめとする栄養成分も豊富になります。しかし、7年目からは病虫害に対する抵抗力も弱くなり栄養価値も著しく低下してしまうため、6年根高麗人蔘こそが最高級品なのです。

紅蔘（こうじん）と
白蔘（はくじん）の違い

高麗人蔘は加工法によって大きく「紅蔘」と「白蔘」に分けられます。紅蔘は蒸すと赤くなることで「紅蔘」という名称が付けました。高麗人蔘の主成分は人蔘本体よりも皮やヒゲに多く含まれ、**薬効の中心であるサポニンの種類や量も紅蔘の方が多く、薬用価値が高くなります。**

	紅蔘（こうじん）	白蔘（はくじん）
栽培年数	6年	4年
製法	皮ごと蒸して乾燥	皮を剥ぎ取りそのまま乾燥
成分特徴	サポニンの種類も量も充実している。蒸しているため消化吸収に優れている。	糖質が高い。周皮を剥いているためサポニン量に損失あり。

人蔘七効説			
1.補気救脱 (ほききゅうだつ)	疲労回復、体力増進	5.補肺定喘 (ほはいていぜん)	肺炎・ぜんそくの治療
2.益血復脈 (えきけつふくみゃく)	貧血・低血圧・心臓衰弱の治療	6.健脾止瀉 (けんぴししゃ)	胃を丈夫にして腸を整える
3.養心安神 (ようしんあんしん)	ノイローゼ・自律神経失調の治療	7.托毒合瘡 (たくどくごうそう)	肌あれ・おできの治療
4.生津止渴 (しょうしんしかつ)	身体の渴きを癒す。糖尿病の治療	高麗人蔘は古来より幅広く効果があると言い伝えられてきました。この7つの効果を「人蔘七効」と言います。	

不眠を根本から改善する高麗人蔘の「養心安神」

高麗人蔘が不眠にも良いことをご存知ですか？それは、紅蔘（原生薬）が3000mgの摂取することによって、自律神経が副交感神経に傾くことが知られています。それにより、精神や神経を沈静化し、ストレスへの抵抗力も高まり、気持ちを穏やかにします。これは不眠の原因を根本から解決する、効果的な方法と言えるでしょう。

自然のちからで不眠を改善する高麗人蔘で、身体への負担や中毒症状に悩むことなく、健康的な眠りを手に入れましょう。